

AsahiKASEI

2023年度第3四半期 決算説明資料

2024年2月7日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2023年度 3Q累計実績

- 前年同期比では、「住宅」が堅調に成長したが、「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」でクリティカルケア事業の業績回復が医薬・医療事業における費用増加や買収影響などをカバーしきれず、減益
- 2022年度第4四半期を底に**3四半期連続で営業利益が増加し**、業績改善の傾向は継続

2023年度 通期予想

- 前期比で増益を見込む**。「住宅」が引き続き堅調に推移することに加え、「ヘルスケア」で**クリティカルケア事業が業績を牽引**。一方、「マテリアル」は想定より経営環境の回復がスローペース
- 引き続き、原燃料コストの価格転嫁、製造原価低減に加え、在庫圧縮や販管費削減など収益体質の強化に取り組む
- 事業ポートフォリオにおいて、基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の構造転換の検討を加速させるとともに、投資の着実な刈り取りや採算性の精査を徹底した上で、成長牽引事業の投資を進める

株主還元

- 株主還元方針に従い、年間配当は36円を予想（変更なし）

中計の 取り組みの進捗

- 旭化成、Gentari、日揮HDで、マレーシアでの60MW級アルカリ水電解システムの建設を含む水素製造プラントの基本設計に関する覚書を締結

1. 2023年度第3四半期実績

3Q累計実績（連結：前年同期比）

売上高は、「マテリアル」で中国を中心とした想定以上の需要減速や市況下落の影響を受けたが、「住宅」、「ヘルスケア」が堅調に推移し、増収

営業利益は、「住宅」が堅調に成長したが、「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」のクリティカルケア事業の業績回復が医薬・医療事業における費用増加や買収影響などをカバーしきれず、減益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減益に加え、持分法投資損益の悪化などにより、減益

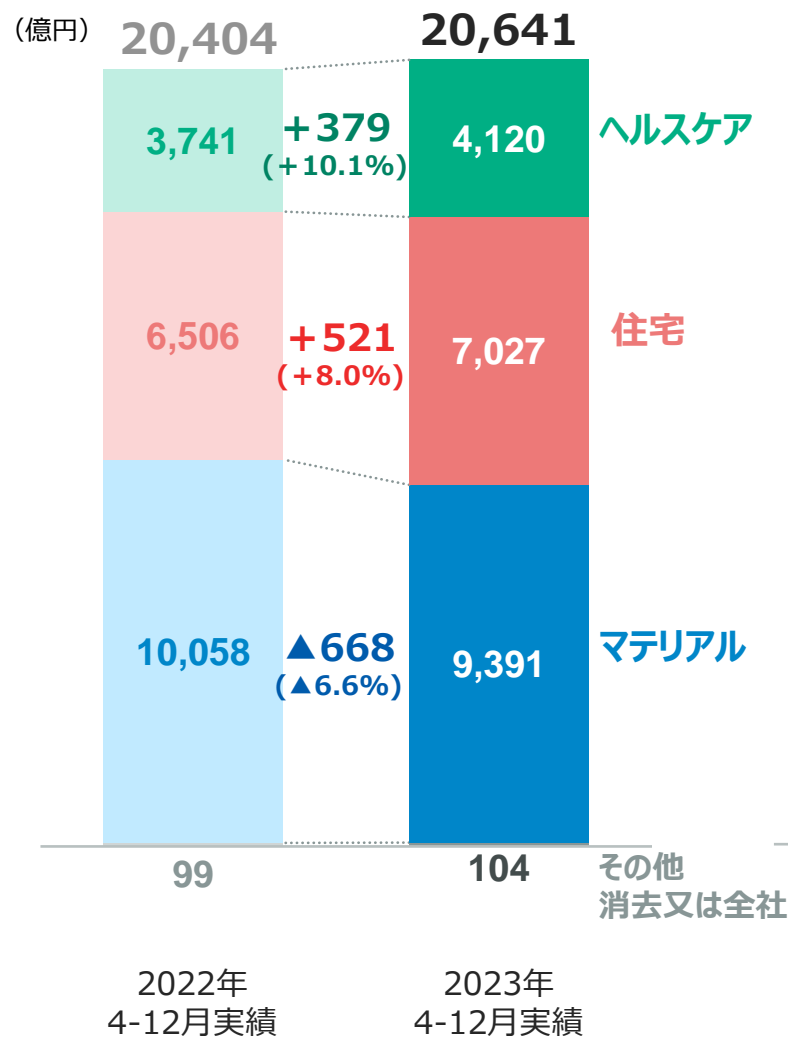
		2022年		2023年		増減額	増減率
		3Q ^{*1}	4-12月 ^{*1}	3Q	4-12月		
売上高	(億円)	6,892	20,404	7,182	20,641	237	1.2%
営業利益	(億円)	303	1,161	426	985	-176	-15.1%
売上高営業利益率		4.4%	5.7%	5.9%	4.8%		
のれん償却前営業利益	(億円)	402	1,441	502	1,205	-236	-16.4%
EBITDA	(億円)	762	2,469	888	2,334	-135	-5.5%
売上高EBITDA率		11.1%	12.1%	12.4%	11.3%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円)	141	658	277	586	-72	-11.0%
相場平均為替レート（USD/円）		142円	137円	148円	143円		
相場平均為替レート（ユーロ/円）		144円	141円	159円	155円		
国産ナフサ価格		72,500円/kl	80,000円/kl	72,800円/kl	68,000円/kl		

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

3Q累計実績（セグメント別：前年同期比）

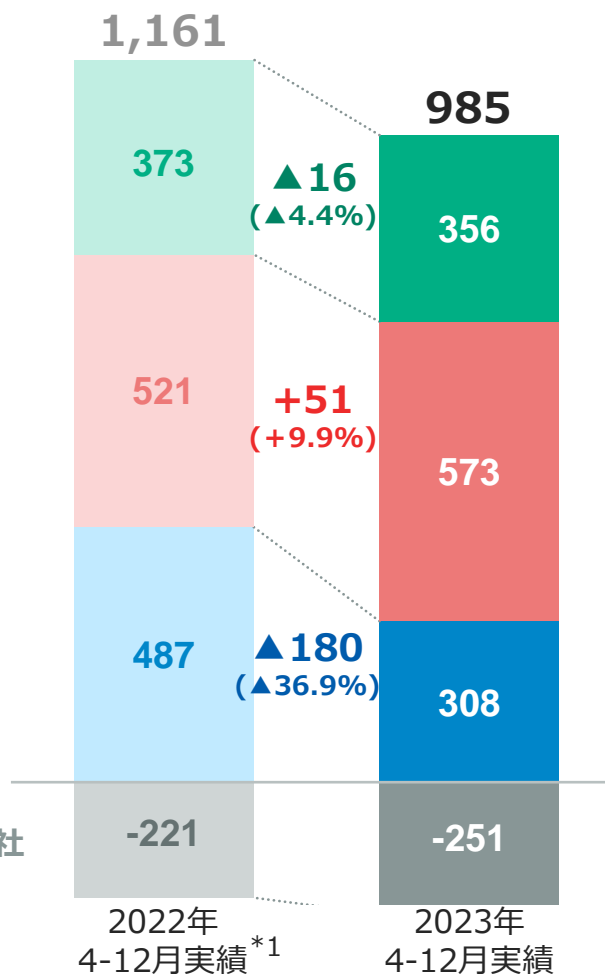
売上高 前年同期比

+237億円（+1.2%）



営業利益 前年同期比

▲176億円（▲15.1%）



ヘルスケア

増収・減益

- ・ **医薬・医療事業▲69億円**：販管費増加やライセンスの一時金収入の減少、Bionovaの新規連結に伴うマイナス要因により、減益
- ・ **クリティカルケア事業+53億円**：LifeVestの保険償還状況の改善や除細動器の販売価格の上昇、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量の増加により、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業+31億円**：建築請負部門が数量減少により減益となったが、不動産部門や海外事業部門が伸長し、増益
- ・ **建材事業+20億円**：価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

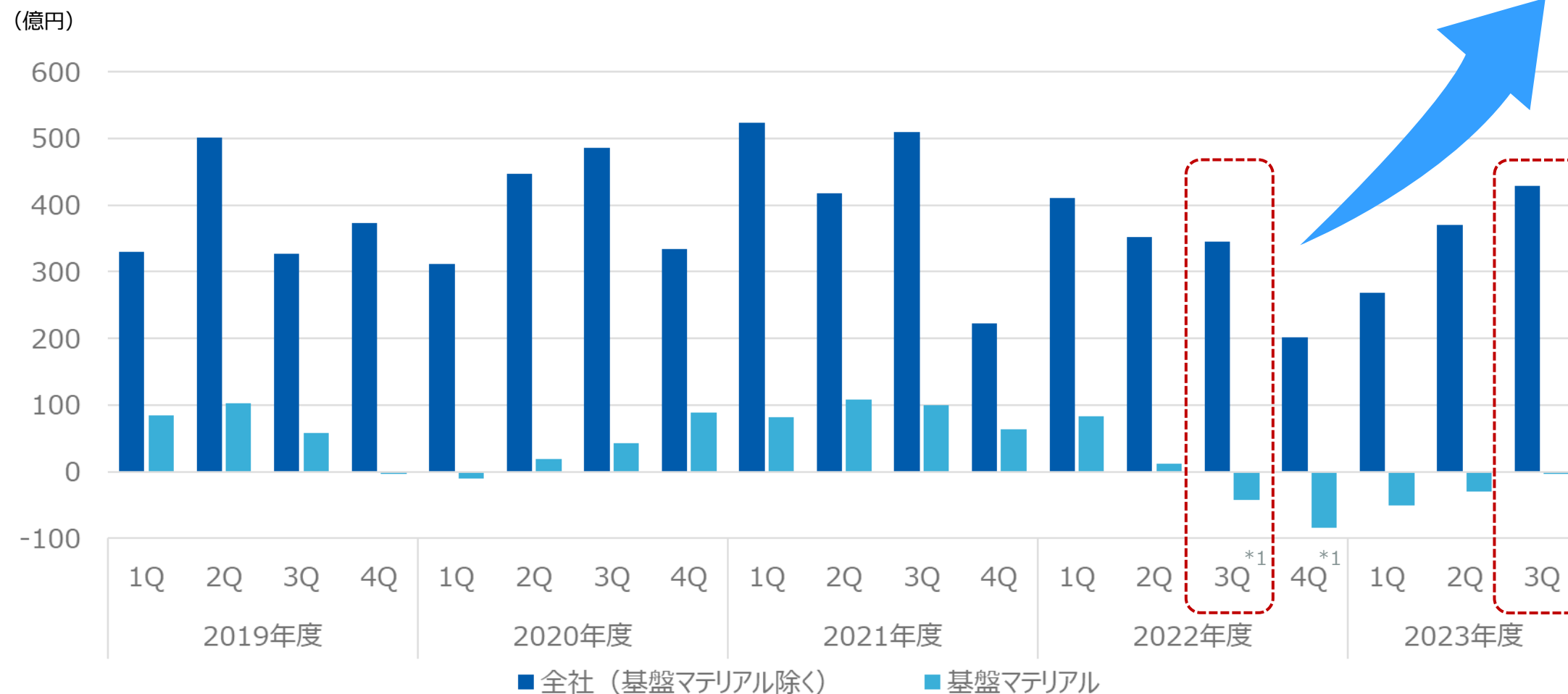
減収・減益

- ・ **環境ソリューション事業▲98億円**：前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少効果があった一方、基盤マテリアル事業の需要減速による販売量の減少や市況下落による在庫受払差などにより、減益
- ・ **ライフソリューション事業▲58億円**：需要減速による販売量の減少や固定費の増加などにより、減益

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

営業活動の強化や費用削減の取り組みなどが奏功し、2022年度第4四半期を底に業績は回復傾向

厳しい経営環境が継続している基盤マテリアル事業を含め、2023年度第3四半期は前年同期比で増益を達成



*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

前年同期比の
主な増減要因

販管費

円安により海外子会社の販管費の換算額が増加した他、新規連結因などにより増加

営業外損益

PTT旭ケミカルの収益悪化などにより持分法投資損益が悪化

特別損益

前年同期の火災損失影響が無くなったことや、ペリクルの事業譲渡益などにより利益を計上

(億円)

	2022年4-12月 ^{*1}		2023年4-12月		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	20,404	100.0%	20,641	100.0%	237	1.2%
売上原価	14,427	70.7%	14,619	70.8%	192	1.3%
売上総利益	5,977	29.3%	6,022	29.2%	45	0.8%
販管費	4,816	23.6%	5,037	24.4%	221	4.6%
営業利益	1,161	5.7%	985	4.8%	-176	-15.1%
営業外損益	-44		-80		-36	
(内、持分法投資損益)	(15)		(-5)		(-20)	
経常利益	1,116	5.5%	905	4.4%	-211	-18.9%
特別損益	-89		45		134	
税前利益	1,028	5.0%	950	4.6%	-78	-7.5%
法人税等	-360		-344		16	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-10		-21		-11	
親会社株主に帰属する四半期純利益	658	3.2%	586	2.8%	-72	-11.0%

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

前年同期の火災損失影響が無くなったことや、ペリクルの事業譲渡益などにより利益を計上

(億円)

	2022年4-12月	2023年4-12月	増減額
投資有価証券売却益	71	100	29
固定資産売却益	7	2	-5
受取保険金	18	21	2
事業譲渡益	-	30	30
受取和解金	-	25	25
特別利益	96	178	81
投資有価証券評価損	17	10	-7
固定資産処分損	52	44	-8
減損損失	13	22	9
火災損失	56	-	-56
事業構造改善費用	47	57	10
特別損失	185	132	-53
特別損益	-89	45	134

総資産	円安に伴い海外子会社の資産が増加
負債	有利子負債の増加に加え、円安に伴い海外子会社の負債が増加
純資産	円安に伴いその他の包括利益累計額が増加

				(億円)							
				2023/3月末	2023/12月末	増減額					
流動資産	14,882	16,164	1,282	負債	17,585	18,690	1,105				
現金及び預金	2,512	3,581	1,070	流動負債	9,122	9,495	374				
受取手形、売掛金及び契約資産	4,427	4,734	307	支払手形及び買掛金	1,806	2,037	232				
棚卸資産	6,426	6,555	129	その他	7,316	7,458	142				
その他	1,518	1,294	-223	固定負債	8,464	9,195	731				
固定資産	19,657	20,343	686	純資産	16,954	17,816	863				
有形固定資産	8,717	9,027	309	株主資本	13,175	13,266	91				
無形固定資産 ^{*1}	7,362	7,327	-34	資本金	1,034	1,034	-				
投資その他の資産	3,578	3,989	410	資本剰余金	798	803	4				
				利益剰余金 ^{*1}	11,417	11,503	86				
				自己株式	-74	-73	1				
資産合計	34,539	36,507	1,968	その他の包括利益累計額	3,428	4,201	773				
				非支配株主持分	351	349	-2				
				負債純資産合計	34,539	36,507	1,968				
のれん残高 ^{*1}	3,486	3,490	4								
有利子負債 ^{*2}	9,395	10,417	1,022								
D/Eレシオ	0.57	0.60	0.03								

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2023年3月末の連結貸借対照表に計上した金額を遡及修正している

*2 リース債務除く

営業CF

税金等調整前四半期純利益が減少したものの、在庫圧縮に努めたことなどによる運転資金需要の減少や法人税支払いの減少などがあり、キャッシュ・インが増加

投資CF

前年同期のBionova及びFocus買収の影響が無くなったことからキャッシュ・アウトが減少

財務CF

借入金等による資金調達額の減少によりキャッシュ・インが減少

	(億円)		
	2022年4-12月	2023年4-12月	増減額
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	12	1,709	1,697
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,034	-1,167	867
設備投資による支出	-1,264	-1,271	-7
M&A関連による支出	-781	-	781
その他	11	104	93
c. フリー・キャッシュ・フロー (a+b)	-2,022	542	2,564
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,329	400	-1,929
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	131	140	9
現金及び現金同等物の増減額 (c+d+e)	437	1,082	644

2. 2023年度通期予想

2023年度通期予想（連結：前期比）

売上高は、「マテリアル」が減収となる一方、「住宅」、「ヘルスケア」が堅調に推移し、増収を見込む

営業利益は、増益を見込む。「住宅」が引き続き堅調に推移することに加え、「ヘルスケア」でクリティカルケア事業が業績を牽引。一方、「マテリアル」は想定より経営環境の回復がスローペース

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期のPolyporeの減損損失によるマイナスから大幅に改善

		2022年度 ^{*1}			2023年度			2023年度 予想	増減額	増減率	2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
		上期	下期 ^{*1}	2022年度 ^{*1}	上期	3Q	4Q予想					下期予想
売上高	(億円)	13,512	13,753	27,265	13,459	7,182	7,109	14,291	27,750	485	1.8%	28,220
営業利益	(億円)	858	419	1,277	559	426	315	741	1,300	23	1.8%	1,400
売上高営業利益率		6.4%	3.0%	4.7%	4.2%	5.9%	4.4%	5.2%	4.7%			5.0%
のれん償却前営業利益	(億円)	1,039	611	1,650	703	502	385	887	1,590	-60	-3.6%	1,690
EBITDA	(億円)	1,707	1,343	3,050	1,447	888	776	1,663	3,110	60	2.0%	3,210
売上高EBITDA率		12.6%	9.8%	11.2%	10.7%	12.4%	10.9%	11.6%	11.2%			11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	517	-1,437	-919	308	277	214	492	800	1,719		850
EPS	(円)	37.28	-103.58	-66.30	22.25	20.00	15.46	35.46	57.71	124.01		61.32
のれん償却前EPS	(円)	50.33	-89.75	-39.42	32.68	25.47	20.49	45.96	78.64	118.06		82.24
相場平均為替レート (USD/円)		134円	137円	135円	141円	148円	145円	146円	144円			143円
相場平均為替レート (ユーロ/円)		139円	143円	141円	153円	159円	160円	160円	156円			154円
国産ナフサ価格		83,800円/kl	69,500円/kl	76,700円/kl	65,600円/kl	72,800円/kl	71,000円/kl	71,900円/kl	68,750円/kl			69,800円/kl
1株当たり配当金		18円	18円	36円	18円	-	-	18円	36円			36円
						(予想)	(予想)	(予想)	(予想)			(予想)

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

2023年度通期予想 (セグメント別：前期比)

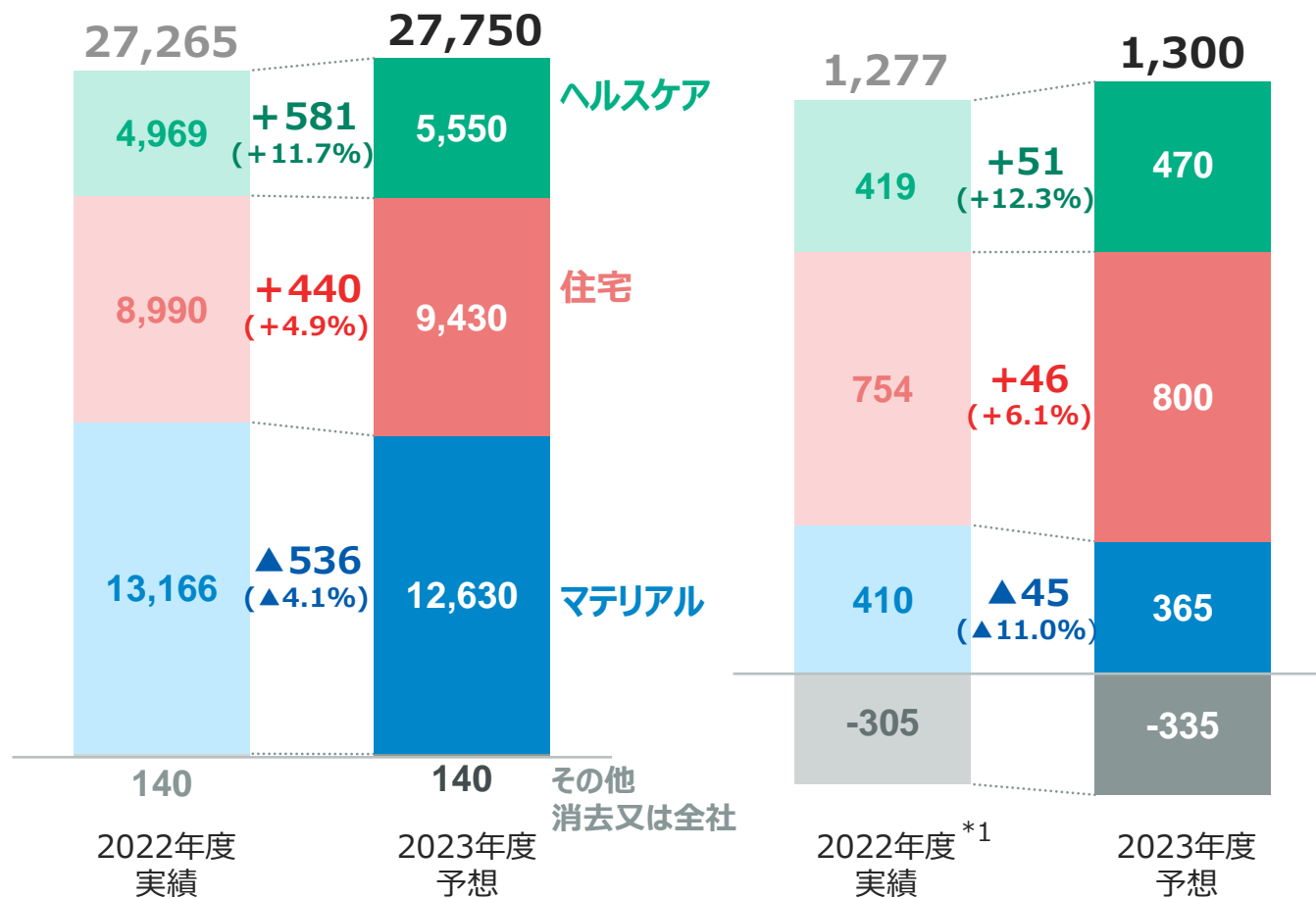
売上高 前期比

+485億円 (+1.8%)

営業利益 前期比

+23億円 (+1.8%)

(億円)



ヘルスケア

増収・増益

- 医薬・医療事業▲50億円**：販管費増加やライセンスの一時金収入の減少、Bionovaの新規連結に伴うマイナス要因により、減益
- クリティカルケア事業+102億円**：LifeVestの保険償還状況の改善や除細動器の販売価格の上昇、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量の増加などにより、増益

住宅

増収・増益

- 住宅事業+21億円**：建築請負部門が数量減少により減益となるが、不動産部門や海外事業部門が伸長し、増益
- 建材事業+23億円**：価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

減収・減益

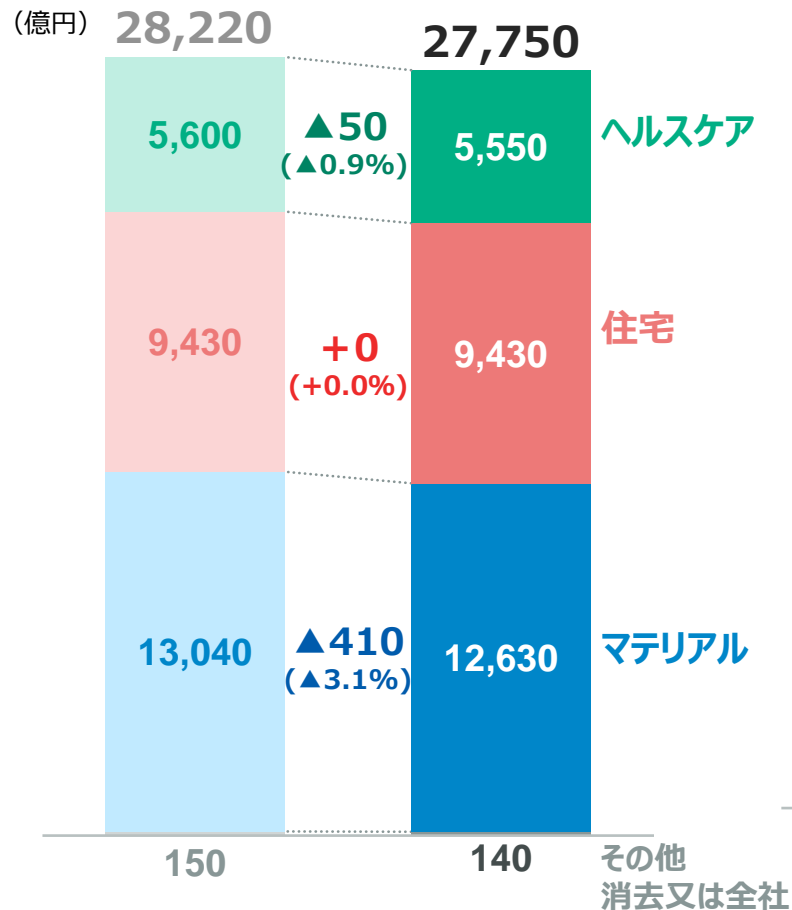
- 環境ソリューション事業▲39億円**：前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少効果がある一方、基盤マテリアル事業における需要減速による販売量の減少や市況下落による在庫受払差などが影響し、減益

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

2023年度通期予想 (セグメント別：前回予想比)

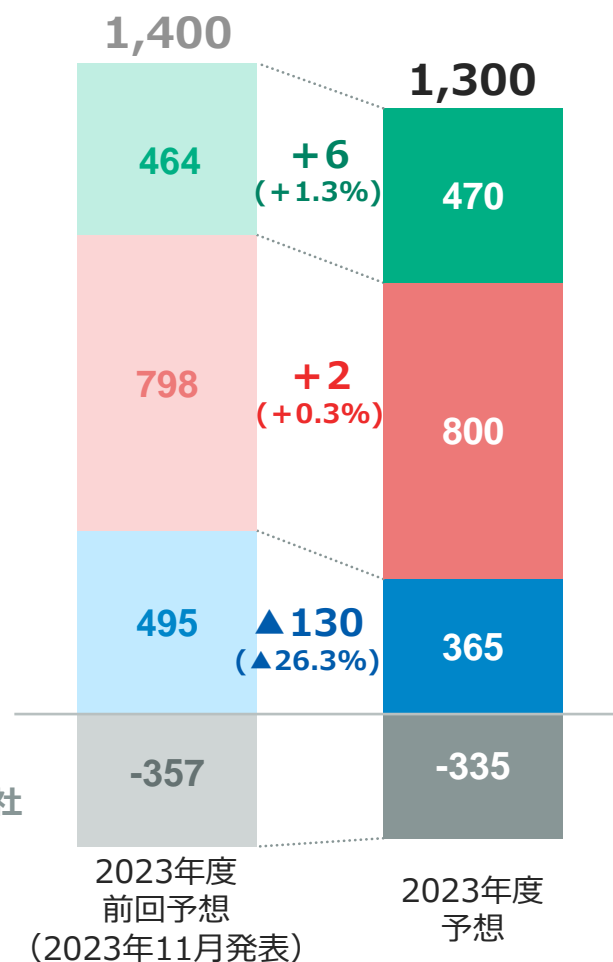
売上高 前回予想比

▲470億円 (▲1.7%)



営業利益 前回予想比

▲100億円 (▲7.1%)



ヘルスケア

売上高・営業利益 想定並み

- ほぼ想定通りの進捗

住宅

売上高・営業利益 想定並み

- ほぼ想定通りの進捗

マテリアル

売上高・営業利益 下方修正

- 環境ソリューション事業▲104億円**：基盤マテリアル事業の想定以上の需要減少や原燃料価格上昇による交易条件の悪化、セパレータの想定以上の需要減少により、下方修正
- ライフイノベーション事業▲27億円**：デジタルソリューション事業にてハイエンドスマホやAIサーバーなどの注力分野の需要はほぼ想定通りに推移しているが、汎用分野の需要が想定以上に落ち込み、下方修正

2023年度
前回予想
(2023年11月発表)

2023年度
予想

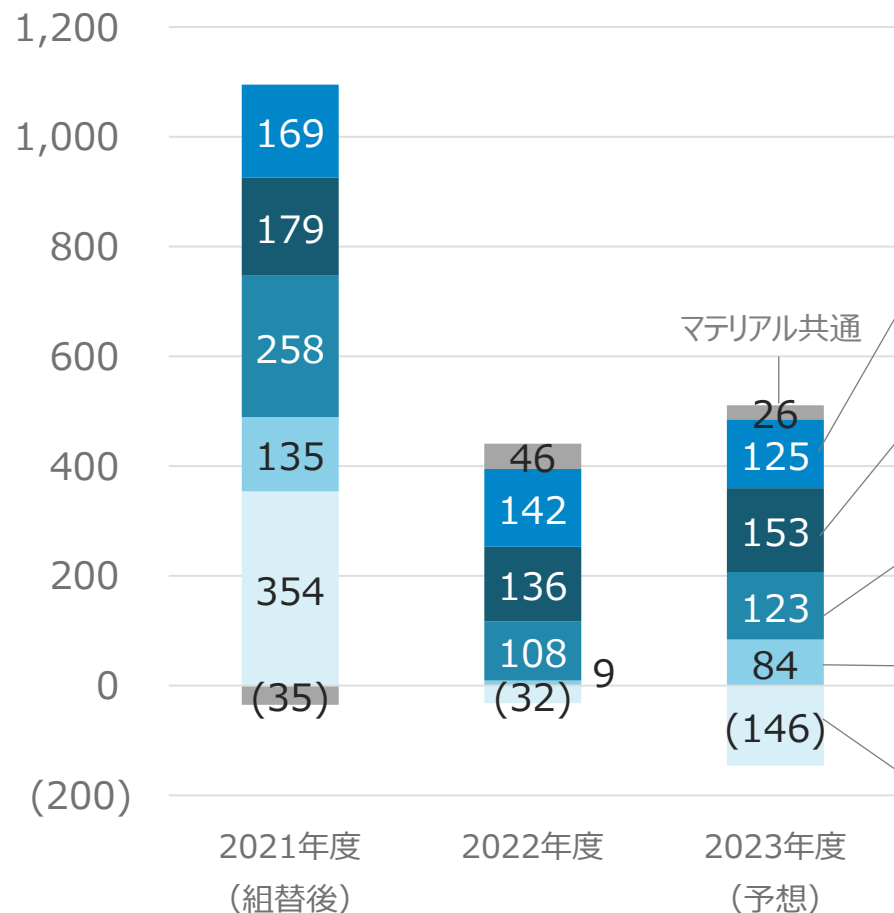
2023年度
前回予想
(2023年11月発表)

2023年度
予想

大きな経営環境の変化を受け、基盤マテリアル事業を中心に「マテリアル」の業績はこの3年間で悪化傾向

構造転換を加速しつつ、成長市場には積極的な投資を進め、利益成長を目指す

営業利益（億円）



事業環境と今後の方針

ライフイノベーション事業 (デジタルソリューション事業)

- 半導体・電子機器の市況は回復半ばであるが、ハイエンドスマホやEV、AI関連など最先端市場の需要は旺盛
- ニッチで特長のある最先端製品・サービスで成長を加速

ライフイノベーション事業 (除くデジタルソリューション事業)

- 消費財や繊維、添加剤など安定的な需要が継続
- 当社の強みを活かせる分野に絞り、ニッチ市場で安定的な利益成長を目指す

モビリティ&インダストリアル事業

- 半導体不足などの自動車の生産台数の減少の影響が解消しつつあり、業績は改善傾向
- Sageの自動車内装材のプラットフォーム構築を強力に推進

環境ソリューション事業 (除く基盤マテリアル事業)

- セパレータ事業の業績は、EV用途の北米市場の本格立ち上がり前に、需要減少の影響を受けて悪化
- 北米市場での投資の検討を進め、さらなる成長を目指す

環境ソリューション事業 (基盤マテリアル事業)

- 中国を中心とした構造的な供給過剰の状態が継続
- 構造転換を推進し、低成長・低資本効率・高ボラティリティからの転換を図る

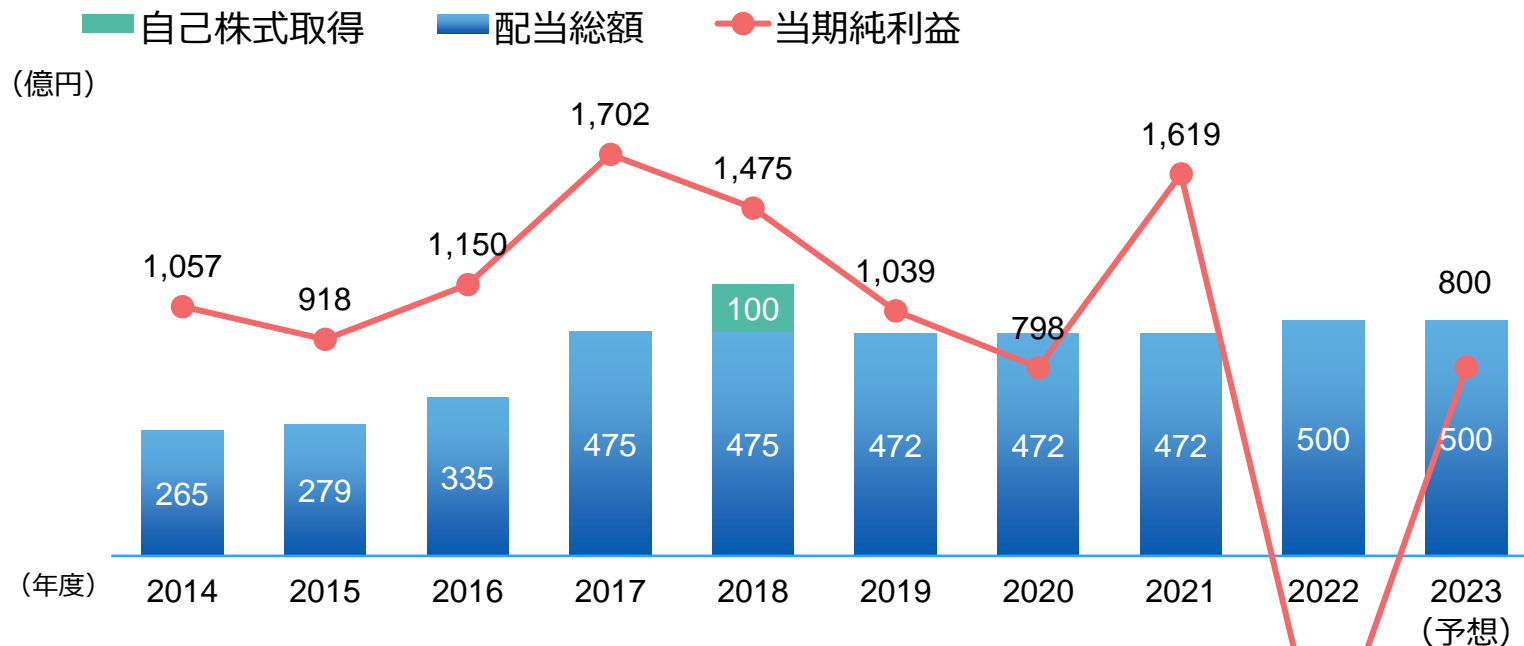
マテリアル
営業利益

1,060

410

365

株主還元方針に従い、年間配当は36円を予想（変更なし）



株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する
- 2 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 3 配当性向30～40%（中計3年間累計）を目安とし、配当水準の安定的向上を図る
- 4 自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況などを総合的に勘案して検討・実施する

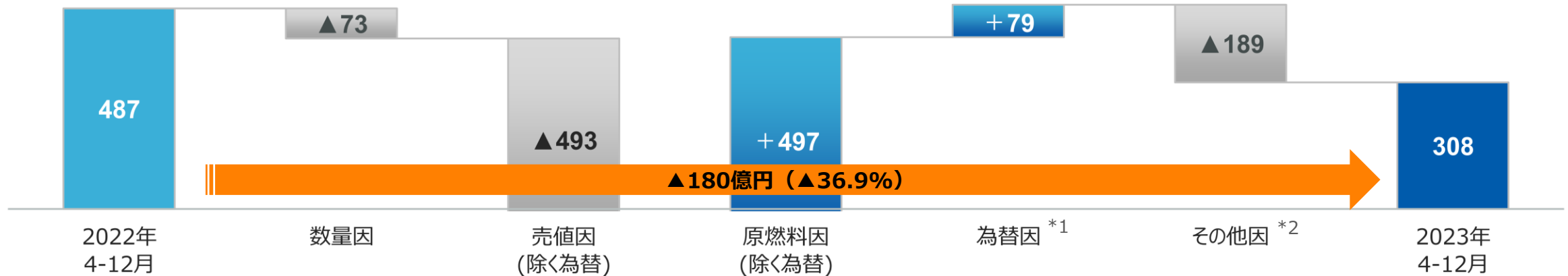
配当性向	25.1%	30.4%	29.1%	27.9%	32.2%	45.4%	59.1%	29.1%	—	62.4%
1株当たり配当金(円)	19	20	24	34	34	34	34	34	36	36

3. セグメント別詳細

市況下落による売値因のマイナスを原燃料価格の低下による原燃料因や円安による為替因のプラスでカバーし交易条件は改善したが、需要減速による数量因やその他因（在庫影響、操業度など）のマイナスにより減益

■ 営業利益要因分析

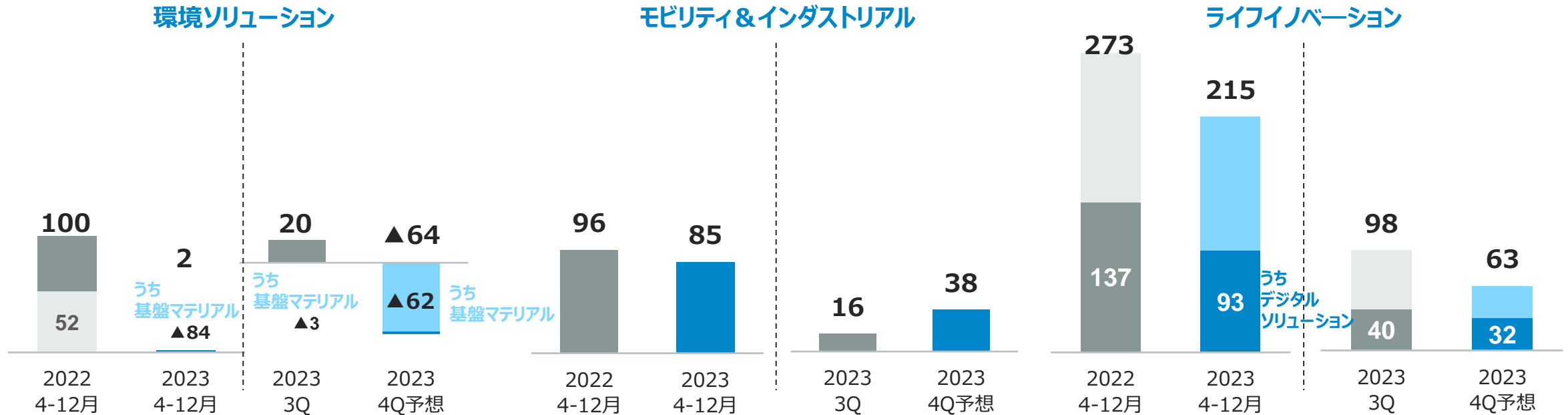
(億円)



	売上高				営業利益									
	2022年 4-12月	2023年 4-12月	増減額	増減率	2022年 4-12月	2023年 4-12月	増減額	増減率	内訳					
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}	
マテリアルセグメント	10,058	9,391	-668	-6.6%	487	308	-180	-36.9%	-73	-493	497	79	-189	
環境ソリューション事業	4,280	3,675	-605	-14.1%	100	2	-98	-97.9%	-63	-386	282	30	39 ^{*3}	
うち 基盤マテリアル事業	2,760	2,192	-569	-20.6%	52	-84	-136	-						
モビリティ&インダストリアル事業	2,861	2,838	-24	-0.8%	96	85	-11	-11.4%	22	-148	152	18	-54	
ライフソリューション事業	2,912	2,875	-37	-1.3%	273	215	-58	-21.3%	-32	41	-10	31	-88	
うち デジタルソリューション事業	964	942	-22	-2.3%	137	93	-44	-32.3%						
マテリアル共通	5	3	-2	-47.3%	19	6	-13	-69.0%	-	-	72 ^{*3}	-	-86	

*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで合せて表示している

■ 営業利益（億円）



主な事業		2023年4-12月 vs 2022年4-12月 (YoY)		2023年度4Q予想 vs 2023年度3Q (QoQ)	
環境ソリューション	セパレータ	↗	販売量の減少や操業度低下の影響があった一方、前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少により、増益	↘	車載用途で新規採用が進むことなどから販売量が増加する一方、製品構成差や修繕費など季節性の固定費増加に伴い、減益
	基盤マテリアル	↘	需要低迷による販売量の減少や、在庫受払差、定修影響などにより、減益	↘	需要低迷による販売量の減少や操業度の悪化、定修の前倒しや発生の期ずれによる固定費増加などにより、減益
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	↗	自動車減産影響の改善や能力増強を受けて販売量が増加したことに加え、交易条件が改善し、増益	↗	中国や欧州にて需要が減少する一方、価格転嫁が進捗することによって利益は横ばい
	エンジニアリング樹脂	↘	自動車用途を中心に販売が堅調に推移したが、在庫受払差や生産調整による操業度低下などにより、減益	↗	家電・OAや工業用途の販売量の増加や交易条件の改善などにより、増益
ライフイノベーション	デジタルソリューション	↘	上期に電子機器・半導体市場の需要が減少し販売量が減少したことや、在庫受払差などにより、減益	↘	需要は緩やかな回復傾向にあるが、出荷の一部前倒しや季節性の固定費増加などにより減益

(億円)

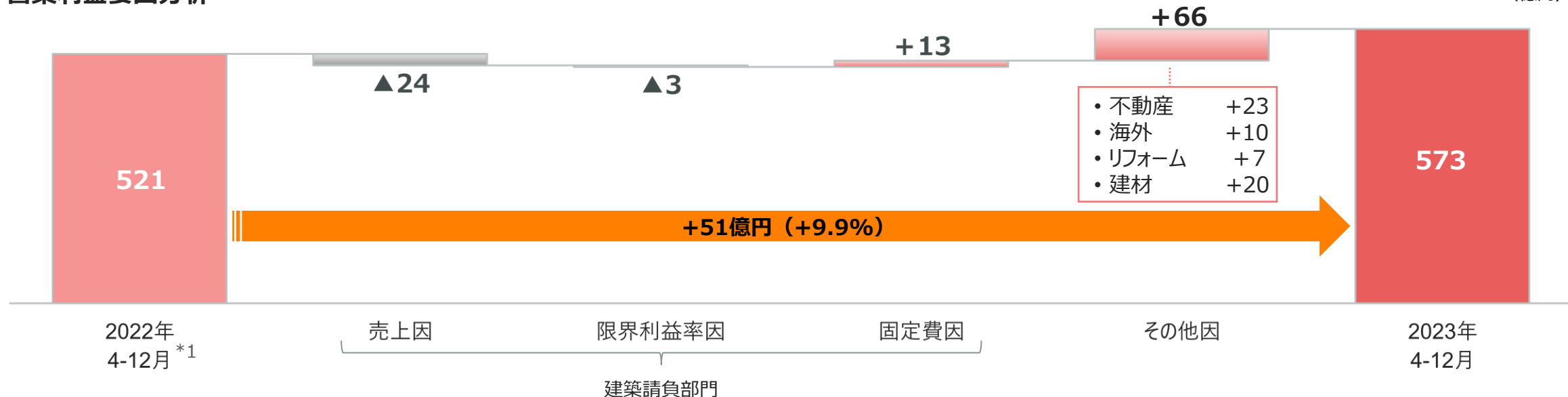
売上高	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
マテリアルセグメント	6,788	6,378	13,166	6,102	3,289	3,239	6,528	12,630	-536	-4.1%	13,040
環境ソリューション事業	2,913	2,686	5,598	2,347	1,328	1,295	2,623	4,970	-628	-11.2%	5,220
うち 基盤マテリアル事業	1,874	1,745	3,619	1,383	808	778	1,587	2,970	-649	-17.9%	3,140
モビリティ&インダストリアル事業	1,921	1,863	3,784	1,877	960	992	1,953	3,830	46	1.2%	3,850
ライフィノベーション事業	1,952	1,826	3,777	1,875	1,000	945	1,945	3,820	43	1.1%	3,960
うち デジタルソリューション事業	665	560	1,225	610	331	318	650	1,260	35	2.9%	1,360
マテリアル共通	3	4	7	3	0	7	7	10	3	50.0%	10

営業利益	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
マテリアルセグメント	406	4	410	177	130	57	188	365	-45	-11.0%	495
環境ソリューション事業	125	-148	-23	-18	20	-64	-44	-62	-39	-	42
うち 基盤マテリアル事業	95	-127	-32	-81	-3	-62	-65	-146	-114	-	-61
モビリティ&インダストリアル事業	91	17	108	69	16	38	54	123	15	13.8%	136
ライフィノベーション事業	196	82	278	117	98	63	161	278	0	-0.1%	305
うち デジタルソリューション事業	105	37	142	53	40	32	72	125	-17	-12.1%	171
マテリアル共通	-6	52	46	10	-4	20	16	26	-20	-43.8%	12

建築請負部門において、数量減少による売上因のマイナスを平均単価の上昇や固定費削減でカバーしきれなかった一方で、不動産部門や海外部門、建材事業が順調に推移したことにより、増益

■ 営業利益要因分析

(億円)

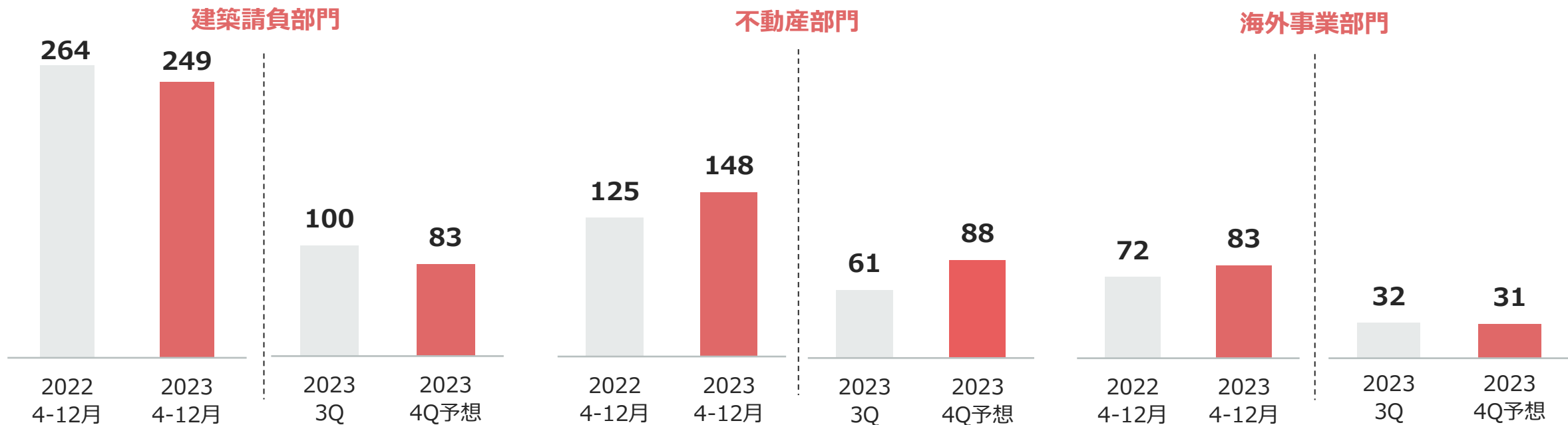


	売上高				営業利益							
	2022年 4-12月	2023年 4-12月	増減額	増減率	2022年 4-12月	2023年 4-12月 ^{*1}	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
売上因	限界利益率因	固定費因										
住宅セグメント	6,506	7,027	521	8.0%	521	573	51	9.9%	-24	-3	13	66
住宅事業	6,205	6,702	497	8.0%	508	539	31	6.2%	-24	-3	13	46 ^{*2}
建材事業	301	325	24	7.9%	13	34	20	149.1%	-	-	-	20

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

*2 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益（億円）



主な事業		2023年4-12月 vs 2022年4-12月 (YoY)		2023年度4Q予想 vs 2023年3Q (QoQ)	
住宅	建築請負部門	↓	物件の大型化・高付加価値化による平均単価の上昇やコストダウンが進んだが、数量減少と資材価格高騰の影響により、減益	↓	工事進行基準における季節因により数量が減少するため、減益
	不動産部門	↑	賃貸管理事業の管理戸数が堅調に増加した他、分譲マンションの販売物件の構成差により、増益	↑	賃貸管理事業の堅調な推移に加えて、分譲マンション販売物件の構成差により、増益
	海外事業部門	↑	豪州事業において、資材費・労務費高騰の影響を大きく受けた前年同期に対し、価格転嫁が進捗し、増益（北米事業は、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前年同期に対し、減益）	→	豪州において、季節因により数量が減少するが、価格転嫁の進捗により、利益は横ばい

売上高	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
住宅セグメント	4,204	4,785	8,990	4,626	2,400	2,403	4,804	9,430	440	4.9%	9,430
住宅事業	4,010	4,582	8,592	4,406	2,295	2,298	4,594	9,000	408	4.7%	9,000
建築請負部門	1,966	2,141	4,107	1,956	1,027	1,017	2,044	4,000	-107	-2.6%	4,000
不動産部門	811	1,084	1,895	871	507	622	1,129	2,000	105	5.5%	2,000
リフォーム部門	261	283	544	279	134	146	281	560	16	3.0%	570
海外事業部門	968	1,066	2,034	1,294	625	531	1,156	2,450	416	20.4%	2,400
その他	4	8	12	6	1	-18	-16	-10	-22	-185.2%	30
建材事業	194	203	397	220	105	105	210	430	33	8.2%	430

営業利益	2022年度 ^{*1}			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
住宅セグメント	336	418	754	354	219	227	446	800	46	6.1%	798
住宅事業	329	410	739	327	212	221	433	760	21	2.8%	760
建築請負部門	162	208	370	149	100	83	183	332	-38	-10.2%	332
不動産部門	75	142	217	87	61	88	149	236	19	8.9%	234
リフォーム部門	25	33	58	32	14	20	34	67	9	15.5%	66
海外事業部門	64	21	86	51	32	31	63	114	29	33.3%	114
その他	3	6	9	8	5	-2	3	11	2	21.7%	14
建材事業	7	7	15	26	7	4	12	38	23	158.8%	38

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

建築請負部門の受注高は、上期は前年同期比でマイナスとなったが、第3四半期は大型集合住宅の受注が好調に推移し、前年同期を上回った。第4四半期以降も、受注において大型化・高付加価値化を推進する

近年の集合住宅の受注拡大を受け、不動産部門における賃貸管理事業が着実に拡大

(単位：億円、()内は対前年同期比)

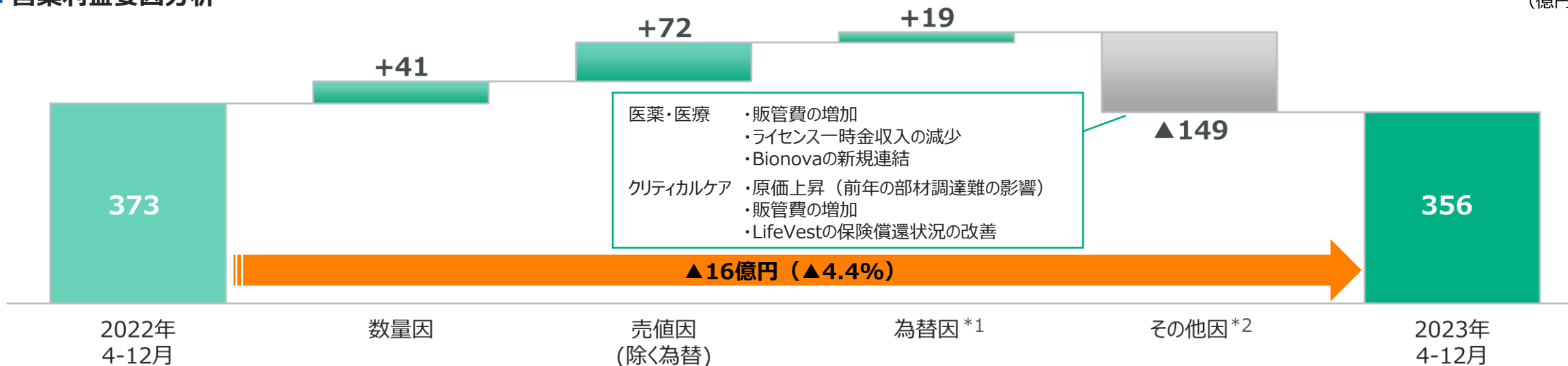
		建築請負部門						不動産部門			
		受注		売上高				売上高 ^{*1}			
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計	
2021年度	上期	2,063	(42.0%)	5,635	1,274	510	106	1,890	218	642	860
	下期	1,780	(-1.8%)	5,333	1,423	606	116	2,145	295	670	965
	通期	3,843	(17.7%)		2,697	1,116	222	4,035	513	1,312	1,825
2022年度	上期	1,912	(-7.3%)	5,481	1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644	(-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556	(-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	上期	1,865	(-2.4%)	5,250	1,137	693	125	1,956	127	744	871
	3Q	913	(26.3%)	5,258	606	364	58	1,027	130	378	507
	4Q予想	955	(3.7%)	4,999				1,017	209	413	622
	下期予想	1,868	(13.6%)	4,999				2,044	338	791	1,129
	通期予想	3,733	(5.0%)					4,000	465	1,535	2,000

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業などの売上高、「賃貸・仲介事業」に仲介事業と賃貸事業の売上高の合計値を表示するように変更している
(2021年度、2022年度の売上高を遡って修正)

クリティカルケア事業で除細動器の価格転嫁進展による売値因のプラスや、部材調達難の改善に伴いAEDなどの数量因のプラスがあった一方、医薬・医療事業でライセンスの一時金収入の減少や販管費増加、Bionova新規連結による減益影響などその他因のマイナスが響き、減益

■ 営業利益要因分析

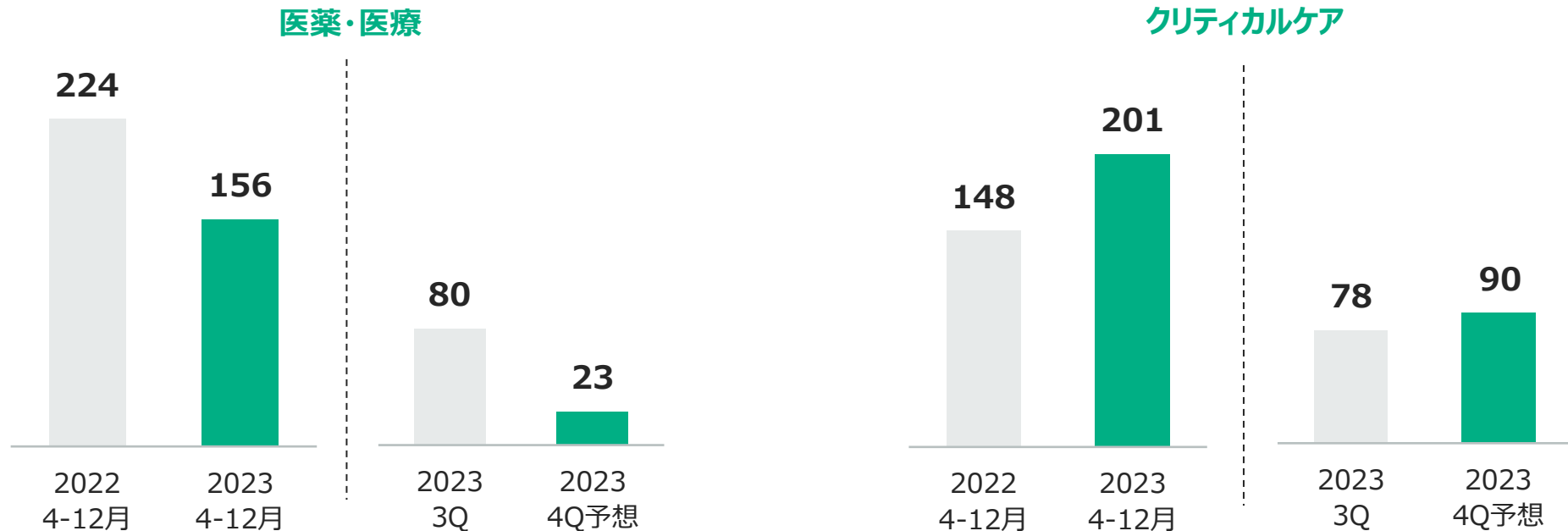
(億円)



	売上高				営業利益							
	2022年 4-12月	2023年 4-12月	増減額	増減率	2022年 4-12月	2023年 4-12月	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
ヘルスケアセグメント	3,741	4,120	379	10.1%	373	356	-16	-4.4%	41	72	19	-149
医薬・医療事業	1,534	1,572	38	2.5%	224	156	-69	-30.7%	18	-2	2	-86
クリティカルケア事業	2,207	2,548	341	15.4%	148	201	53	35.5%	24	74	18	-63

*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス・導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 など

■ 営業利益（億円）



主な事業		2023年4-12月 vs 2022年4-12月 (YoY)		2023年度4Q予想 vs 2023年度3Q (QoQ)	
医薬・医療	医薬		Envarsus XRの販売が順調に推移したが、新製剤の販売開始などに伴う販管費増加や、前年同期に計上されたライセンス一時金収入の減少により、減益		季節因に伴う販売量の減少や販管費増加に伴い、減益
	医療		Bionovaの新規連結による減益影響に加え、プラノバの顧客の在庫調整に伴う販売量減少により、減益		プラノバの販売量が回復する一方、季節性の販管費増加に伴い、減益
クリティカルケア	LifeVest		保険償還状況の改善により、増益		受注の堅調な推移による増収に伴い、増益
	除細動器		価格転嫁の進展や、部材調達難の改善に伴いAEDの販売量が増加したことにより、増益		AEDや医療機関向け除細動器の販売量の増加により、増益

(億円)

売上高	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
ヘルスケアセグメント	2,455	2,514	4,969	2,665	1,455	1,430	2,885	5,550	581	11.7%	5,600
医薬・医療事業	989	1,013	2,002	1,009	564	528	1,091	2,100	98	4.9%	2,130
医薬事業	536	564	1,100	563	324	283	607	1,170	70	6.4%	1,180
医療事業	453	449	902	445	239	245	485	930	28	3.1%	950
クリティカルケア事業	1,466	1,501	2,967	1,657	892	902	1,793	3,450	483	16.3%	3,470

営業利益	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)	
	上期	下期	上期	下期予想							
				3Q	4Q予想						
ヘルスケアセグメント	258	160	419	198	158	114	272	470	51	12.3%	464
医薬・医療事業	146	84	229	75	80	23	104	179	-50	-21.9%	175
クリティカルケア事業	113	77	189	123	78	90	168	291	102	53.6%	289

EBITDA	2022年度			2023年度			2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	(参考) 2023年度 前回予想 (2023年11月発表)
	上期	下期	上期	下期予想						
				3Q	4Q予想					
ヘルスケアセグメント	572	492	1,064	540	336					1,143
医薬・医療事業	272	222	494	217	155					461
クリティカルケア事業	300	270	570	323	181					681

(売上高の対象地域、単位)	2022年度			2023年度		4-12月 前年同期比	
	3Q	4-12月	年度	3Q	4-12月	増減額	増減率
<旭化成ファーマ>							
テリボン (国内、億円)	102	308	399	106	299	-9	-3.0%
リコモジュリン (")	25	67	84	25	66	-0	-0.6%
ケブザラ (")	26	71	93	31	85	14	19.9%
リクラスト (")	4	11	14	4	10	-1	-6.7%
プラケニル (")	14	41	54	16	45	4	8.5%
<Veloxis>							
Envarsus XR (米国、百万ドル)	53	141	186	62	169	28	19.9%

一般名		薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ (遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC (汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ (遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

		開発コード（一般名）	適応症	起源	開発	備考（地域他）
国 内	販売開始 (FY23/1Q~)	AK1820 (イサブコナゾニウム硫酸塩)	アスペルギルス症・ムーコル症 クリプトコックス症	導入	自社	販売名「クレセンバ」
	申請中					剤型追加
	フェーズⅢ	TA799 (アプラグルチド)	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 (日米共同フェーズⅠ実施中)
	フェーズⅡ	AK1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
	フェーズⅡ		慢性腰痛症に伴う疼痛			
	フェーズⅠ	AK1910	自己免疫疾患	導入	自社	
海 外	フェーズⅢ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国
	フェーズⅠ	AK1320	脊椎固定術	自社	自社	北米
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導 出 品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 (日中販売権は当社が保持)

4. 参考資料

(億円)

	2022年4-12月		2023年4-12月		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率		
マテリアルセグメント	5,951	59.2%	5,716	60.9%	-235	-3.9%
環境ソリューション	2,368	55.3%	2,130	58.0%	-238	-10.0%
モビリティ&インダストリアル	2,287	79.9%	2,269	79.9%	-18	-0.8%
ライフイノベーション	1,291	44.3%	1,314	45.7%	23	1.8%
マテリアル共通	5	100.0%	2	97.6%	-2	-48.6%
住宅セグメント	1,495	23.0%	1,919	27.3%	425	28.4%
住宅	1,495	24.1%	1,919	28.6%	425	28.4%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	2,913	77.9%	3,281	79.6%	368	12.6%
医薬・医療	739	48.2%	771	49.0%	32	4.3%
クリティカルケア	2,174	98.5%	2,510	98.5%	336	15.5%
その他	7	7.4%	9	8.9%	2	25.2%
合 計	10,366	50.8%	10,925	52.9%	559	5.4%

地域別海外売上高							
アジア	4,157	20.4%	3,902	18.9%	-255	-6.1%	
(内、中国)	1,946	9.5%	1,914	9.3%	-32	-1.6%	
米州	3,798	18.6%	4,229	20.5%	431	11.3%	
欧州	1,259	6.2%	1,385	6.7%	126	10.0%	
その他海外	1,153	5.6%	1,410	6.8%	258	22.3%	

主なM&A案件（2022年4月以降）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	PL連結開始	買収金額	のれん発生額
住宅	住宅	Focus (Focus Plumbing LLCなど5社)	北米における住宅の建築工事	2022年11月1日	362億円	128億円
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造受託、次世代抗体医薬品GMP製造受託	2022年7月1日	429億円	355億円

(億円)

	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
マテリアルセグメント	2,080	2,368	2,710	2,890	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	3,289	3,239
環境ソリューション事業	890	951	1,065	1,237	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,146	1,201	1,328	1,295
うち 基盤マテリアル事業	537	559	644	771	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	808	778
モビリティ&インダストリアル事業	391	556	716	768	754	765	807	896	925	997	940	923	918	960	960	992
ライフインノベーション事業	799	859	927	883	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	1,000	945
うち デジタルソリューション事業	280	281	307	275	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	331	318
マテリアル共通	-0	3	2	2	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	7
住宅セグメント	1,478	1,848	1,702	1,771	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	2,400	2,403
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	2,295	2,298
建材	88	95	92	76	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	105	105
ヘルスケアセグメント	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	1,455	1,430
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	564	528
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	892	902
その他	36	35	30	33	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	38	36
合 計	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	7,182	7,109

四半期営業利益推移

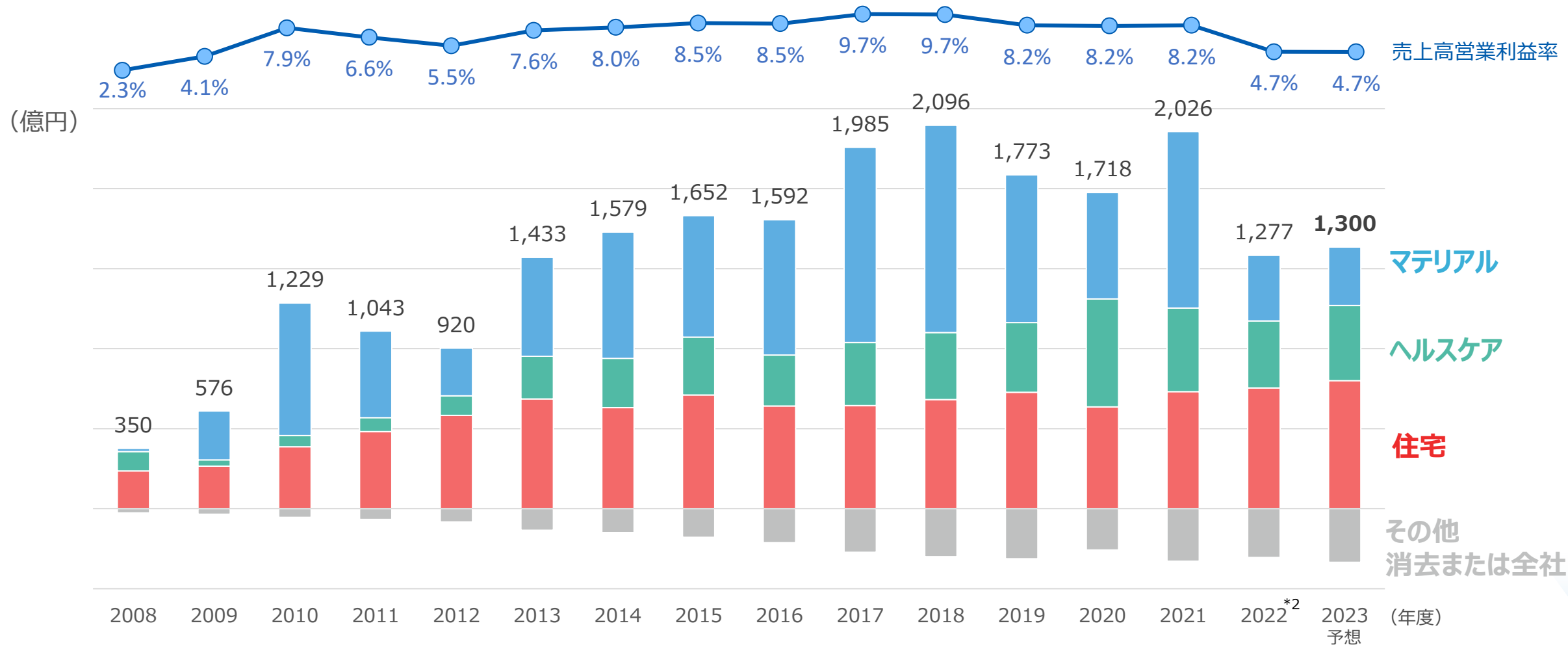
AsahiKASEI

(億円)

	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*1}	4Q ^{*1}	1Q	2Q	3Q	4Q予想
マテリアルセグメント	80	110	209	230	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	130	57
環境ソリューション事業	19	44	82	130	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-11	20	-64
うち 基盤マテリアル事業	-10	20	42	89	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	-3	-62
モビリティ&インダストリアル事業	-33	8	39	63	82	50	54	71	52	39	5	12	30	39	16	38
ライフイノベーション事業	82	66	90	55	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	98	63
うち デジタルソリューション事業	31	28	38	36	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	40	32
マテリアル共通	12	-8	-3	-18	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	-4	20
住宅セグメント	106	209	164	152	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	219	227
住宅	98	196	155	148	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	212	221
建材	10	13	11	0	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	7	4
ヘルスケアセグメント	155	199	204	118	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	158	114
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	80	23
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	78	90
その他	8	10	9	15	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	6	3
消去又は全社	-48	-61	-58	-92	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-87	-86
合 計	301	467	527	423	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	426	315

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

- 「住宅」の安定的な利益成長や、「ヘルスケア」の利益の拡大により、利益構造はレジリエント化が進んでいる
- 今後の利益成長には「マテリアル」の稼ぐ力が課題



*1 過年度の実績については、参考情報として現在の開示区分に簡便的に組み替えて表示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	主な事業
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ
		膜・システム
		合成ゴム・エラストマー
		基盤マテリアル 石化関連事業
	モビリティ&インダストリアル	自動車内装材
		エンジニアリング樹脂
		機能性コーティング
	ライフイノベーション	デジタル 電子材料
		ソリューション 電子部品
		コンフォート 高機能マテリアル（添加剤他）
		消費財
住宅	住宅	建築請負（戸建・集合）
		不動産（分譲マンション・賃貸管理）
		リフォーム
		海外住宅（北米・豪州）
	建材	建材
ヘルスケア	医薬・医療	医薬（医療用医薬品）
		医療（バイオプロセス・血液浄化）
	クリティカルケア	除細動器
		LifeVest（着用型自動除細動器）

- <組替後>と表示している箇所では、過年度の実績について2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

<お知らせ>

**2023年度決算
発表予定日**

2024年5月9日（木）